

平成 26 年度 事業報告

1) 登録者:平成 26 年度は 352 名の純増があったので、合計は 16,922 名である。

《純増の内訳》

一般	44 名	長崎東 LC	1 名	長崎西 LC	12 名
長崎みなと LC	1 名	長崎南 LC	2 名	長崎ヤング	1 名
長崎中央 LC	1 名	長崎あじさい	1 名	諫早 LC	26 名
諫早中央 LC	5 名	諫早センチュアソン LC	6 名	諫早東 LC	4 名
大村 LC	1 名	大村中央 LC	1 名	おおむら桜 LC	2 名
雲仙小浜 LC	3 名	島原 LC	202 名	口加 LC	6 名
深江布津 LC	3 名	有家西有家 LC	1 名	日野江城 LC	1 名
佐世保中央 LC	1 名	波佐見 LC	21 名	松浦 LC	6 名

合計 352 名

2) 摘出角膜・眼球について

(1) 摘出角膜利用状況は以下のとおりである。(平成 27 年 3 月 31 日現在)

献眼者数	54 名
摘出角膜数	108 眼
移植利用角膜数	61 眼 (うち 8 眼は昨年度の保存角膜を利用)
保存眼数 (表層移植用)	17 眼

※ 40 眼は感染症検査陽性等で利用不可のため廃棄処分にした。

(うち 2 眼は昨年度の保存角膜を廃棄処分)

(2) 長崎県の角膜移植待機患者数 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

長崎大学病院	61 名	長崎医療センター	0 名
佐世保市立総合病院	0 名		

計 61 名

【参考】角膜移植待機患者人数 (過去 15 年分)

平成 12 年度末 : 114 人	平成 13 年度末 : 136 人	平成 14 年度末 : 79 人
平成 15 年度末 : 80 人	平成 16 年度末 : 62 人	平成 17 年度末 : 24 人
平成 18 年度末 : 25 人	平成 19 年度末 : 24 人	平成 20 年度末 : 21 人
平成 21 年度末 : 17 人	平成 22 年度末 : 17 人	平成 23 年度末 : 19 人
平成 24 年度末 : 33 人	平成 25 年度末 : 51 人	平成 26 年度末 : 61 人

3) 角膜の広域あっせんについて

他アイバンクへ7眼の角膜をあっせんした。

福岡県医師会アイバンク	4 眼
鳥取県臓器・アイバンク	1 眼
愛媛アイバンク	1 眼
三重県角膜・臓器バンク協会	1 眼

4) 会議

(1)第1回理事会

平成26年5月15日 長崎大学病院 第4会議室

(2)第1回評議員会

平成26年5月28日 ホテルニュー長崎

(3)第36回九州各県アイバンク連絡協議会

平成26年7月25日 東京(北岡・浜崎)

(4)第37回全国アイバンク連絡協議会

平成26年7月25日 東京(北岡・浜崎)

(5)第26回アイバンクワークショップセミナー

平成26年7月26日 東京(浜崎)

(6)第27回アイバンクワークショップセミナー

平成27年2月21日 東京(北岡・浜崎)

(7)第2回理事会

平成27年3月19日 長崎大学病院 第4会議室

5) 厚生労働大臣の献眼者に対する表彰について

厚生労働大臣の献眼者に対する表彰者は54名である。

6) 普及啓発活動

(1)平成26年5月26日

NBC ビデオホールにて「長崎チサン愛 アイバンク歌謡祭」が開催され、業務執行理事 上松聖典がアイバンクについて講演した。

(2)平成26年7月17日

東七株式会社にて業務執行理事 上松聖典が「角膜移植とアイバンク」について講演した。

(3)平成26年9月25日

長崎大学医学部ポンペ会館にて余光会懇談会が開催され、業務執行理事 上松聖典が「高齢者の目の病気」について講演した。

(4)平成 26 年 10 月 5 日

西海市および佐世保市以北在住のアイバンク登録者を対象に目の愛護デー無料検診が行われ、15 名が受診した。

(場所:佐世保市立総合病院眼科外来 主催:長崎県眼科医会、長崎アイバンク)

平成 26 年度 決算報告 (別紙決算書参照)

附記事項

- 1) 大野仁 氏より、10,000 円寄附を受けた。
- 2) 長崎北ライオンズクラブより 200,000 円寄附を受けた。
- 3) 長崎県眼科医会より 200,000 円寄附を受けた。
- 4) 長崎チサン愛 アイバンク歌謡祭にて、参加者や観客より 71,646 円の寄附があった。
- 5) ライオンズクラブ 337-C 地区より 1,930,000 円寄附を受けた。
- 6) 募金箱の収入が 200,748 円あった。
- 7) 監査:土肥良男氏、松本信幸氏より監査を受けた。